



あひるぐみだより

平成30年度5月号 尚徳福祉会 生麦保育園

4月の初めは、色々な環境の変化に、泣き声でいっぱいだった保育室も、今では一人一人が思い思いに遊ぶ様子や、かわいい笑顔など多く見られるようになりました。新入園児の子どもたちも、抱っこやおんぶで過ごすことはほとんどなくなり、保育者から離れて遊ぶことも多くなってきました。園生活に慣れてきた一方、疲れも出やすくなる時期です。子どもたちの健康状態に配慮しながら、楽しく過ごしていきたいと思います。



☆子どもたちの様子☆

あひる組の生活が始まって1か月が経ちました。あんなに泣いていた子どもたちですが、だんだんと泣く時間も短くなり、今では楽しく遊び、かわいい笑顔がたくさん見られるようになってきました。

室内遊びでは楽器遊びが大人気です。保育士が『おもちゃのちゃちゃちゃ』を歌うと、リズムに合わせてタンバリンや鈴をたたいています。一つの楽器で足らず、右手にタンバリン、左手に鈴を持って満足そうな表情をしています。

外遊びも大好きで、コンビカーに乗ったり、しゃぼん玉を追いかけしています。

時々、ちょっぴり泣いているお友だちもいますが楽しいことを一緒に見つけていこうと思います。

☆お散歩☆

お天気の良い日はお散歩に出掛けています。散歩車に乗って景色を見たり、保育者と手を繋いで歩くことを楽しんでます。近所にあるお花を見つけると『あっ』と指差し、保育者の『さいた〜♪』歌に合わせて、歌ったり、手をパーにしてお花の形を作って嬉しそうにしています。

近くの公園に着くと、保育者を追いかけたり、砂場でスコップを片手に砂をすくってカップに入れたり、移したりして砂の感触を楽しんでいます。公園でたくさん体を動かした後に散歩車に乗るとウトウト。。これからは、電車を見に行ったり、鶴見川の河川敷に行ったりして散歩を楽しみたいと思います。



☆春の制作☆

こいのぼり制作をしました。こいのぼりの形をした色画用紙にシールを貼っていきました。シールを渡していくとペタペタ貼っていき、貼り終わると『もっとシールちょうだい』と手を伸ばし、再びペタペタ。。こいのぼりがシールだらけになると満足そうな表情をしていました。

☆お知らせ☆

26日(土)懇談会があります。

子どもたちの様子や園での生活の流れについてお話ししたいと思います。

詳細は後日お知らせ致します。